

発言No.

10

受付No.

12

令和2年11月19日

9時56分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 15 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨 1

1、市の元気づくりに向けた新たな施策について

- ① 特定地域づくり事業協同組合の設立など新たに取り組まれるが、さらに業を起こし雇用をつくる、DMO地域が連携して観光を振興する母体づくり、先進地で取り組まれている地域商社事業、石見神楽で地域を活性化する母体づくりなどが必要であるが、その考えはどうか。
- ② 開府400年事業など周年事業は、交流人口や関係人口の増加、市の元気づくりに向け、市として一定の評価がされているが、1921年の浜田駅開業から令和3年に100年を迎えるが、その記念事業の取り組み、市の活性化に向けた関連事業の実施、関係先への働きかけなどの取組の考えはないか。

2、高度情報化の推進など新たな学校教育の推進について

- ① GIGAスクール構想が進められ、児童生徒1人1台のタブレット端末が配備され、環境や条件の整備、機器の配備など整備状況、支援員の配置、教職員への研修などが予算化され進められているが、現在の状況、年度末を見通した状況はどうか。これからやるべき課題をどのようにとらえているのか。
- ② 学校給食の公会計化が進められている。浜田市では検討から実施に移す段階にあるが、現在の取り組み状況はどうなっているのか。

3、新型コロナウイルスの支援施策について

- ① 中小企業者等応援給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金など、市独自の支援策を講じているが、新型コロナウイルス対策本部として、対象事業者数や対象者数に対してどの程度行き届き、対象事業者や対象者の事業立て直しや生活再建に役立っているのか、一連の支援策についてどう評価しているのか。
- ② コロナ禍で売上げが激減した事業者、雇止めになった人、収入が大幅に減少した家

庭などがあるが、年越しや新しい年を控え、支援が必要となっており、新たな制度の構築、追加の支援などが必要ではないか。

4、雇用を守りつくる施策の推進について

- ① 有効求人倍率が悪化しており、雇用対策を最重要課題として取組む必要があるが、その構えはどうか。リーマンショック時のように、市として雇用相談推進体制をつくる必要があるのではないか。
- ② 令和3年4月から障がい者の法定雇用率が改められるが、市の状況と対応はどうか、民間企業への働きかけなど具体的にどのように進める考えか。

—以上—